



マイケルポランニー暗黙知の次元からみる空間設計手法 まちの要素と関係性による特性モデルを使った大森山王でのケーススタディ

地図 —それにはどんな場所でも同じような情報量が書き込まれている
しかし実際に街を歩いてみると私たちの認識しているまちは地図のように情報量が一定のものでは
ないことに気づくだろう

その場所を訪れる人、その場所に住む人、それぞれの意識している、もの、人、場所があり、
どんな街にも、そうした個人個人が意識しているものたちでできあがる
人々の意識の濃度（ムラ）が存在しているのではないのでしょうか。

こうした通常地図上には表されない人の意識のムラを視覚化・空間化し、その街に住む人、
訪れる人のムラから生まれるものを手がかりに建築化をおこなう。

本研究をおこなうにあたって、調査エリアを設定した。
調査設定エリアは大田区大森山王地域。大森山王は江戸時代以前より旧東海道沿いの宿場として栄え、近代以降は町工場を主体とした職住一体の下町や山の手の文士村を抱えた非常に特色のある街でしたが、近年は都心へのアクセスの高さから不動産としての価値が上昇し、高層の集合住宅やどこにでもあるような建て売りの戸建住宅へとそれらは取って代わろうとしている。

01 .要素を抽出する。

G1	老人	G71	東海道線
G2	専業主婦	G72	のり
G3	主婦	G73	時雨の駅
G4	子供	G74	わらじ工
G5	外国人	G75	買物
G6	若者層	G76	口コミ
G7	足湯	G77	娯楽
G8	屋上菜園	G78	祭り
G9	ダイシン屋上カフェ	G79	自転車キャラバン
G10	商店街	G80	NPO 法人
G11	パン屋	G81	デリ主婦
G12	美容室	G82	わんわんバトロール
G13	駐輪場	G83	T-PASSION
G14	路切	G84	大森まちづくりカフェ
G15	地割谷	G85	太田教育支援
G16	環七	G86	太田まちづくり芸術支援教会
G17	東海道線	G87	お祭
G18	開坂	G88	木を見て森を見る
G19	駅	G89	大森夢フェア
G20	ジャーマン通り	G90	大森倶楽部
G21	公園	G91	こらば大森夏祭り
G22	山王エコビレッジ	G92	NPO 法人太田・花とみどりのまちづくり
G23	倉庫	G93	グループみつばち
G24	町工場	G94	NPO 法人ゆうえふ
G25	京浜工業地帯の中核	G95	OCNet
G26	駄菓子屋すみちゃん	G96	大森基句
G27	ホテル	G97	NPO 法人混合バレーボール協会
G28	カドヤ	G98	太田文化の森
G29	馬込文士村	G99	桜のプロムナード
G30	こらば大森	G100	共同オフィスぶらっとホーム大森
G31	ホテル	G101	おおた市民が夢望推進機構
G32	馬込温泉	G102	おばあちゃんち
G33	大森貝塚	G103	自転車ネットワーク
G34	山王清水公園	G104	アトリエ・チルドリン
G35	平和島	G105	サードプレイス
G36	山王	G106	東西分断
G37	池上通り	G107	余暇
G38	倉庫	G108	緑
G39	旧東海道	G109	台地
G40	八景坂	G110	平地
G41	大森山王会館	G111	川
G42	ギャラリー大森山王交際	G112	四季
G43	大森観光協会	G113	歴史
G44	大森学園高等学校	G114	娯楽
G45	ライブハウスイヴ	G115	階段
G46	ダイシン百貨店	G116	危険な建物
G47	天祖神社	G117	文化、歴史
G48	ドイツ学園	G118	四季を感じる
G49	大森高校定時制	G119	坂
G50	大森テニス倶楽部	G120	海
G51	お立て場	G121	自然
G52	美原通り	G122	一戸建て
G53	大田区中央五丁目公園	G123	リフォーム
G54	M3	G124	海と陸の境
G55	大森射的場	G125	御座敷町
G56	大森ベルポート	G126	緑地文化
G57	大森 のりのふるさと館	G127	九十九の谷
G58	馬込銀座	G128	選った土地
G59	六郎用水	G129	防空壕
G60	映画館	G130	私たちの内川
G61	錦ヶ森刑場跡	G131	マンション住まいの親世代が既に
G62	泪橋		体験していないこと
G63	八景園	G132	片寄地をはらない庶民の文化
G64	コミュニティバス	G133	世界の玄関からちょっとした温泉をどうぞ
G65	自転車	G134	ビルの屋上から設計図を飛行機で飛ばせば
G66	榎木鉢		3日後には製品になって戻ってくる
G67	のり	G135	漁業
G68	鬼足袋	G136	文豪・画家
G69	広告	G137	庭
G70	馬込ブランド野菜	G138	風
G71	東海道線	G139	空家
		G140	踏み切り問題
		G141	山王
		G142	山の手
		G143	危険な古い建物

大森山王でのゲニウス・ロキパタン



ゼミ
学生



大森カフェ

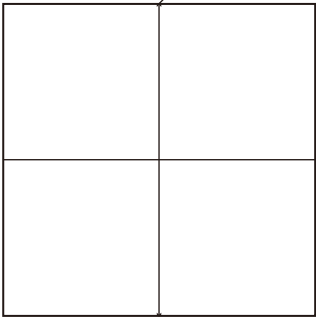


地域密着型
商業施設

意識のムラの視覚化、空間化の手順には手法として、ソーシャルマップという手法を使用した。ソーシャルマップの作製法はダイアグラムの通りである。

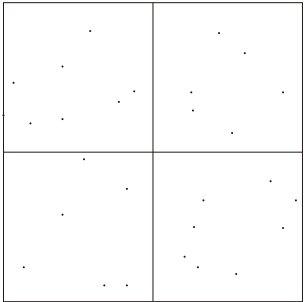
今回ソーシャルマップの軸にプロットする要素の抽出、軸上での要素の位置決定は、まちあるきを一緒に行なった学生、タウン情報誌を編集している地元の方々、地域密着型の商業施設に訪れていた方に協力していただきました。

ex) new / old

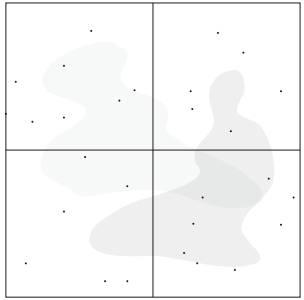


soft / hard

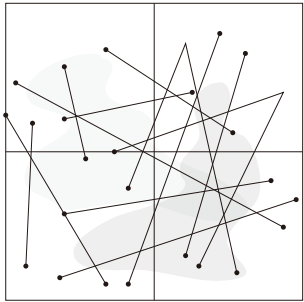
02 . 任意の軸の決定をする。



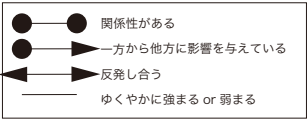
03. 要素のプロットをおこなう



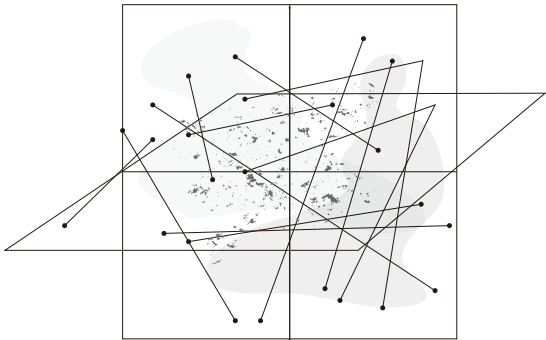
04. 各要素の類型化をおこなう。



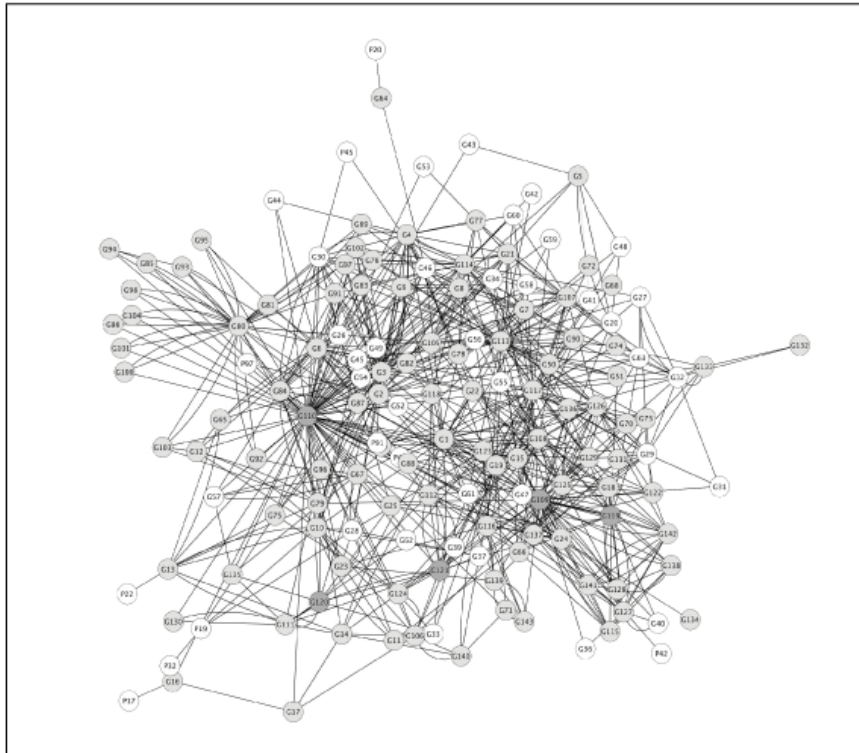
05. リレーション（関係性）でつなぐ



06 地図上での位置をとる。



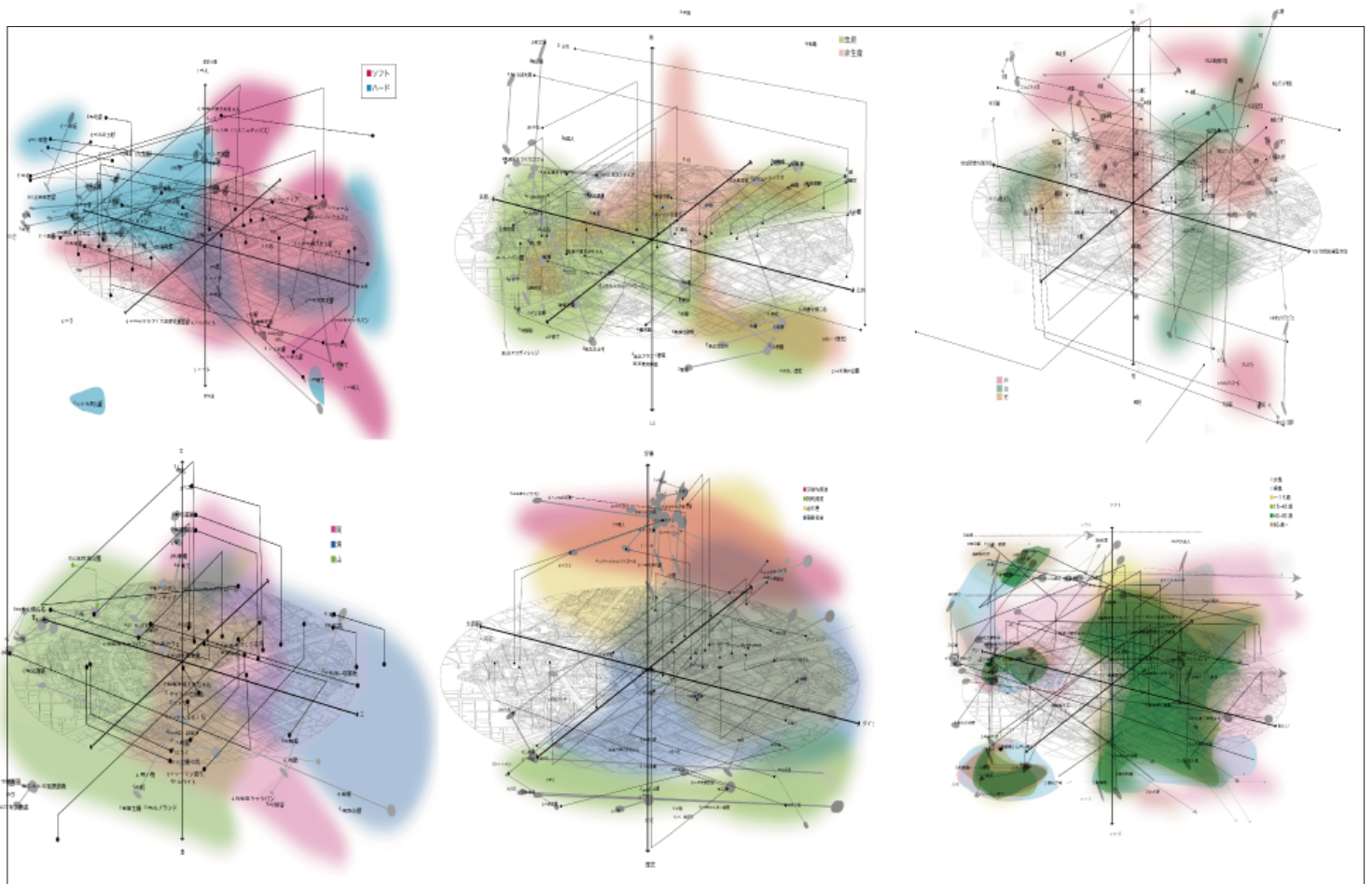
こうして出来上がるソーシャルマップは通常の地図とは異なり「人の意識のムラ」を具現化したものである。



街全体の流れとしては、若年層中心に NP0、コミュニティビジネス活動が局所的に集中しておこなわれており、ソーシャルマップを作成していく過程でのヒアリングを通して、若い世代は自分のできることを生かしてまちのなかで行動を起こす場所を求めているということが分かりました。

また高齢者層は、かかわり合いを持つ要素は多いが、各要素への働きかけは若年層に比べて少なく、若年層がかかわり合いを持っている要素とはあまり関係性がないということが分かりました。特にこの傾向は、街の西の山側では顕著にみられる。

一方で要素同士の関係性をまとめてみると殆どの要素が地形に関する要素、古い道、坂道、山、谷といった高低差、にかかわるものや、緑のしつらえに関するもの、路傍の文化、緑側・庭の文化へと繋がっていくことが分かる。





◀敷地南北と並行なグリッドは、地形のラインに沿ってグリットラインを設けた。

■敷地概要

敷地面積 4800㎡ 第一種低層住居地域／第一種中高層住居専用地域

◀左の図は、大森山王に古くから（江戸時代以前から）ある道や用水路を表記したものである。

用水路と赤で書かれた道は、現在はなくなってしまった道である。本敷地の東西と並行に存在する鼓動は3本あり、この3本の道に共通することは、やや緩やかなカーブを描き、春先から夏の暑い時期にかけて大森山王の山から吹いている南東向きの風のラインに沿っているということである。いずれの道も決して勾配が緩やかな道ではないが常に入通が多い大森の特徴的な道であるといえる。

